

ご自宅で国際交流しませんか？

埼玉県国際交流協会 ホームステイボランティア

●「ホームステイボランティア」とは？

留学や研修で来日している外国人（以下、ゲスト）は、寮やアパートなどで生活しているため、日本の文化や生活に触れる機会が少ないのが実情です。そのようなゲストをご自宅に迎え入れ、一般的な日本の生活を体験できるように、ご協力いただくボランティア活動です。

●主な事業

埼玉県国際交流協会が実施する主なホームステイ事業は次のとおりです。

- ① 埼玉県内大学*の外国人留学生のホームステイ事業
- ② 日本語国際センター海外日本語教師のワンナイトステイ事業

*グローバル人材育成センター埼玉運営協議会（略称 GGS）の会員大学



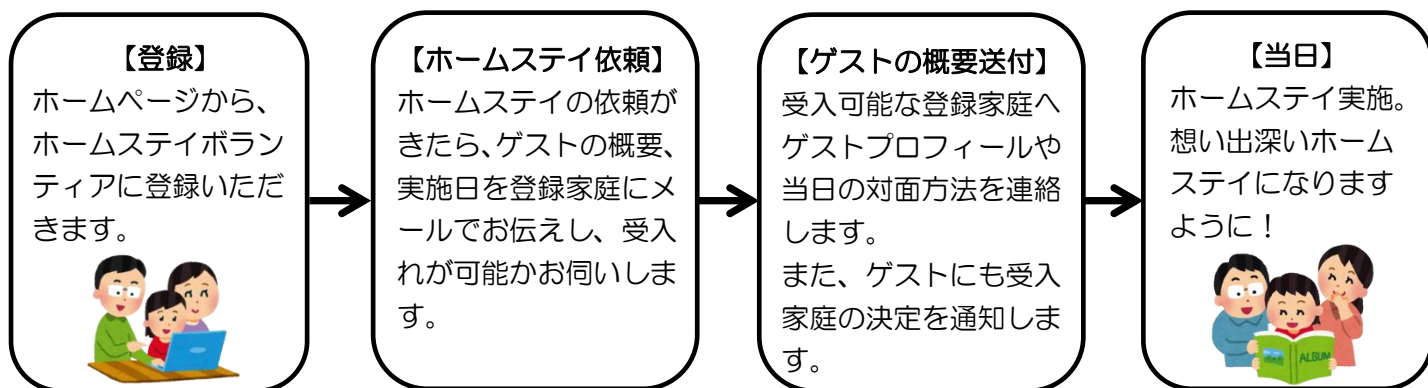
●ホームステイボランティアになるには

埼玉県国際交流協会のホームページから「ホームステイボランティア」へのご登録をお願いします。また、登録内容を変更する場合もお知らせください。

≪登録条件は次のとおりです≫

- ① 埼玉県内に在住で、原則として家族が2名以上いる（単身世帯でない）ご家庭
※但し、1人暮らしの方は、当日ご親戚やお友人などに宿泊してもらい、複数名による受入ができれば可能
- ② ゲストに1部屋ご提供いただけるご家庭
- ③ ご家族全員でゲストを歓迎してくださるご家庭

●ゲスト受入れまでの流れ



※ご登録いただいた個人情報は、ホームステイ事業（ゲストとホストの連絡調整および年間スケジュール等のご案内）以外には使用いたしません。

ホームステイボランティア経験者の声

・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

1 日目は、ショッピングモールで一緒に買い物をしました。

100円ショップでクッキング道具などを購入し、次回我が家に来たらケーキを作りたいと言っていました。

食事は、宗教上豚肉がダメだそうで、予定していたメニューを急遽変更しました。プロフィールに無かったので少々慌てましたが、家族でワイワイと異文化交流をしながらの夕食は盛り上がりました。



2 日目は、午前中に着物着付け体験をして、写真もたくさん撮りました。

午後は、私も行きたかった公園の「梅まつり」に行き、特に、同時開催されていた「陶器市」をとっても喜んでくれ、お土産に湯呑みを2つ買っていました。



その後、和食レストランで、皆で会食し駅に送りましたが、その後も地元でのイベントに同行したり、我が家の「ひな祭りパーティ」で、七段飾りのお雛様を楽しんでくれたりしました。

これからも度々訪れてもらい、一緒に料理をしましょうと話しています。

・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

やはり、相手の人格や国、宗教に敬意を示すことでしょうか。工夫と言うほどではありませんが、あまりお客様扱いをせず、日本人の普段の生活を見てもらうようにしています。



・ゲストを受け入れての感想をお願いします

今回は相手の国について勉強不足（いつもですが・・・）でしたが、聞くこと全てが珍しく、まさにお茶の間で、異文化交流を楽しみました。

ひとつだけ心がけているのは、みなさん日本が好きで日本語を勉強し、留学先に日本を選んでくれたので、帰国の時にはもっと日本を好きになってもらえたら良いな～ということです。



良い方をご紹介くださり、ありがとうございました。



・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

近くの公共施設のフェスティバルで、色々なイベントをしていたため、茶道体験やだるま絵付け体験などをしたり、公園で遊んだり、ドライブもしました。



・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

家族の一員として、心地よく過ごしていただけるようにしました。あらかじめ、受け入れする方の国について、子どもたちと調べて話しました。



・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

色々な話をして、子どもたちも外国の方を身近に感じられ、とても楽しく過ごせました。



・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

ひな祭りが近かったので、岩槻の雛人形工房に見学に行きました。あとは、一緒にスーパーに行き、食べたいものを聞きながら買い物をするなど、自宅でゆっくり過ごし、特段出かけることはしませんでした。その分、時間に追われず、子どももコミュニケーションをはかることができました。本人にも楽しんでもらったように感じています。

・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

相手の住んでいる国のこと、本人の将来の計画など、日本語でも英語でもたくさん質問して、できるだけコミュニケーションの量と質を高めるようにしています。また、ゲストが遠慮や、緊張する必要がないよう、フランクに接するように心がけています。ステイ中は、なるべく本人の希望を聞き、沿える部分を増やすようにしています。ステイが終わるときには、一回きりの付き合いで終わってしまわないように、お互いの連絡先を詳しく交換しています。



・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

日本語がまだ上手でない方も受け入れましたが、礼儀正しく、マナーも良かったです。将来にわたり、家族のメンバーとゲストがコミュニケーションをとり続けられると良いと思います。

・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

1日目は、長女が作った焼きそばやサンドイッチ、サラダの昼食を取った後、さいたま市の盆栽美術館を見学しました。その後、ゲストと家族みなでおしゃべりを楽しみました。

Facebook を使い、ゲストの2人のお子さんご主人も紹介してもらいました。

夕食は、一緒に近くのスーパーに買い出しに行き、寄せ鍋、きんぴら、ぬか漬けなど、掘りごたつのある1階の祖父母の所で食べました。

2日目は、ごはん、味噌汁、鮭、卵焼き、のり、梅干しといった朝食をとったあと、小江戸川越を楽しみました。

蔵造りの街並み、まつり会館、菓子屋横丁など、非常に喜んでいただけました。夕食をとったあとに、車でゲストの居室がある日本語国際センターまでお送りしました。



・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

当たり前のことですが、家族同様に接するよう心掛け、必要以上に気を使わないことです。

あまり気を使い過ぎると、お互い疲れてしまいます。また、ゲストの方には一般家庭を通じて、日本のことを学んでいただくとともに、私たち家族もゲストの方から様々なことを得ることができるウィンウィンの関係が重要だと思います。

我が家では、家族全員で心をこめてお迎えますが、3人の子供たちが順番に主ホスト役となることとしています。役割としては、2日間のおもてなしの計画（食事のメニューとお連れする場所の選定、部屋の提供など）を事前に考えて準備することとお世話係です。

・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

非常に親しみやすく誠実な方で、トルコの大学で日本語を教えているだけあって、教養や見識も深く、こちらの方が学ぶことの方が多かったです。様々な国に行かれている方なので、いろいろな話を聞き、刺激を受けました。

また、大学進学後に海外留学を希望している長女に対して、非常に役立つアドバイスをいただくとともに、バックパッカーとして世界中を旅している次男には次の訪問国へのヒントをいただけたようです。さらに、長女が日本語国際センターで開催された歓送会のパーティに参加させていただき、ゲスト以外の多くの国の方々とも話ができて、有意義なひと時を送ることができたことと喜びでした。



・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

タイの留学生2人を受け入れました。初日は午後2時頃に来て頂き、家でゆっくりして、いろいろな話をしました。まずお茶とお菓子でひと休みしてから、タイの地図で2人のホームタウンを教えてください、住んでいる地域の様子や家族の事など、いろいろ話してもらいました。私達も行った事のあるタイの地域を地図で見ながら、タイでの体験話などして盛り上がりました。

また、私達も家族の話をして、写真も見てもらいました。日本の結婚式や七五三祝い、旅行やいろいろな事を、我が家の写真で見てもらいました。

夕食は早めに普通の和食でしました。私は料理が得意ではないので 美味しかったかどうかは、「??」です。夕食後、私は地域の役員会に出席したので、その間2人の留学生と主人の3人で話をしていました。

2日目は朝食後、私と音楽仲間時々行くコンサートへ、一緒に行きました。演奏家5人（ピアノ、バイオリン（2人）、チェロ、ビオラ）を呼んでのプライベートのコンサートです。タイではクラシック音楽を聴く機会が無かったそうで「とても良かった」と言っていました。

コンサート後、レストランで夕食をして家に戻りましたが、2日間アツという間で、一緒に写真を撮るのを忘れていて、2人が帰る間に居間で一緒に写真を撮りました。



・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

いろいろな話に花が咲くのですが、宗教と政治については、深い話はしないようにしています。また、留学生の興味をできるだけ満足してあげるよう心がけています。ホームステイ後も日本滞在中は、できるだけ我が家を訪れてもらえるようにしています。

ただ、私たちは留学生が日本滞在中に、あれもこれも体験させてあげたい！と思う気持ちが強いので、押し付けがましくならないようにと、気持ちをセーブしています。それから、できるだけ日本の良いところを持ち帰ってもらおうと思っています。

・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

2人を受け入れたときも、どちらの方も気遣いはあるし、礼儀正しいし、明るく楽しい学生さんたちでした。勉強にも意欲が有り、好奇心も旺盛で前向きです。若い人はいいです。私達も大いに元気をもらいました。これからもいろいろな国の方との出会いを楽しみにしています。



ゲストの感想

- ホームステイ前は、少し心配でしたが、ホストファミリーがとても優しくしてくれたので、感動しました。いろいろな体験が出来て、良かったと思います。
- 留学で日本に長く住んでいるので、今さらホームステイするのもおかしいかな？と、最初は思っていました。でも、本当に行って良かったです。
- 日本の文化をたくさん学びました。ホストファミリーは、私と話すだけでなく、私自身のことや私の国の文化について学ぼうとしてくれました。それはとても素晴らしいことです。
- 短い時間だけれど、色々な話が出来た。いろんな年齢層の人とのコミュニケーションによって、とても勉強になった。
- まだまだ日本語を勉強しなければならない私でも、ホストファミリーはそれを気にせず、分かり易い言葉で話してくれた。こんな優しいホストファミリーに出会えて、もっとうまく会話できるように頑張りたいという気持ちになった。
- 初めは、言葉の壁や文化の違いを心配していたが、優しくフレンドリーなホストファミリーだったので、リラックスできた。
- ホストファミリーを通して、日本の日常生活がどのようなものなのかを、直接知ることが出来た。この経験は、素晴らしいものだった。
- 自分の国に居るような生活が出来たことは、とても嬉しかった。日本での素晴らしい経験のひとつになりました。
- たくさん話して、笑って、楽しい時間を過ごしました。「いつでも連絡してほしい」と、ホストマザーに伝えました。私たちは親子のような関係になったと思います。



●よくある質問

Q：ホームステイ中は、何をして過ごしたら良いですか？

A：ゲストは、ご家族と一緒に料理を作る、近くを散歩するなど、日本の一般家庭の生活を体験することを楽しみに、ホームステイに参加します。必ずしも、外に出掛けなくてはいけない、ということはありません。

Q：受入する家庭は、外国語ができないと難しいでしょうか？

A：語学力がないからといって不安になる必要はありません。ゲストにとって、ホームステイ中は、先生以外の日本人と日本語を話す貴重な機会です。簡単な日本語表現（やさしい日本語）を使ったり、身振り手振りを交えたりなど、工夫してコミュニケーションを取っていただくと良いでしょう。

Q：提供する食事は、日本食で良いですか？

A：食事重要な日本文化のひとつです。基本的には、普段通りの食事をご用意いただいて構いません。但し体質的な問題や宗教・信条等による食事制限がある場合には、ご配慮をお願いいたします。

食事について



ベジタリアン（菜食主義者）の場合

食べない・食べられないもの：

- ・肉、魚（エキスや出汁を含む）
- ・卵（人によってはOK）
- ・乳製品（人によってはOK）

朝食	野菜のサンドイッチ、ごはん、みそ汁（昆布だし）、おもち、サラダ、くだもの など
昼食・夕食	トマトソースのスパゲッティ（ベーコンなどは入っていないもの）、ガーリックトースト、ポテトフライ、野菜ピザ、山菜うどん（昆布だし）、温野菜、野菜の煮物（昆布だし）、豆腐、田楽、パンなど ※野菜のてんぷら（かつおだしのてんつゆではなく塩で）、野菜のフライなどは、卵が食べられない場合は× ※卵がOKの場合は、オムレツなども。

イスラム教徒の場合

食べない・食べられないもの：

- ・豚肉（ハム、ベーコン、ラード、豚肉エキスを含む）
- ・アルコール（人によっては「みりん」を使った料理も×）
- ※人によっては、ハラール*以外の鶏肉や牛肉も遠慮する場合があります。

*ハラールとは、イスラム教の教えに基づいて処理された食材や料理のことをいいます。

朝食	ごはん、おにぎり（たらこ・ツナなど）、みそ汁、目玉焼き、おもち、和菓子、くだもの など
昼食・夕食	ごはん、漬物、スパゲッティ、ツナのサンドイッチ、おでん、煮魚、すし、てんぷら、オムレツ、鶏肉の唐揚げ、焼き鳥（ハラールでない鶏肉もOKの場合） など

出典：日本語国際センター 作成「埼玉県ワンナイトステイ事業について 受入家庭の皆様へ」より抜粋。

●令和2年度年間スケジュール予定

	実施日	予定人数	依頼機関
1	令和2年 9月19日(土)～20日(日)	若干名	GG S運営協議会の会員大学
2	11月28日(土)～29日(日)	若干名	GG S運営協議会の会員大学
3	令和3年 2月27日(土)～28日(日)	若干名	GG S運営協議会の会員大学

※上記の日程・実施機関以外に、当協会に対して打診があった場合には、それに合わせて受入れ家庭の募集をさせて頂くことがあります。

●ご注意いただきたいこと

- ・ゲストの文化や宗教、食習慣へのご配慮をお願いします。
- ・ホームステイ中に掛かる費用は、原則ゲストが負担することとなっています。外出時に支払いが必要な場合は、事前にどのくらいの費用が掛かるか、お伝えください。
- ・ゲストとの連絡先交換は、ホームステイ中に直接してください。個人情報保護により、ホームステイ終了後、お問い合わせいただいても、連絡先をお伝えすることは出来ません。
- ・積極的にコミュニケーションを取り、ゲストへの理解を深めてください。

(参考) 最近の実績

実施年度	人数	ゲストの主な出身国
平成26年度	54名	中国、ドイツ、インド、バングラデシュ、スリランカ、カンボジアなど
平成27年度	69名	中国、パキスタン、ハンガリー、ネパール、イタリア、韓国、インドなど
平成28年度	78名	中国、ハンガリー、ベトナム、スペイン、メキシコ、パキスタン、台湾など
平成29年度	77名	中国、イタリア、カザフスタン、ポーランド、タイ、スリランカ、マカオなど
平成30年度	92名	中国、韓国、バングラデシュ、スペイン、フランス、ハンガリー、ドイツ
令和1年度	73名	中国、台湾、ポーランド、モンゴル、ロシア、オランダ、ギニアビサウなど

☆地域別では、アジアが一番多く、次いでヨーロッパ、北米等です。



お問い合わせ：公益財団法人 埼玉県国際交流協会 (SIA)

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 浦和合同庁舎 3階

TEL : 048(833)2992 FAX : 048(833)3291 E-mail : jigyo-01@sia1.jp

ホームページ : <http://www.sia1.jp/>